

平成 27 年度「ほっとけない・こころの健康づくり講演会」企画運営業務  
公募型企画競争に係る質問及び回答

(平成 27 年(2015 年)12 月 3 日現在)

質問 1

“障がい者への配慮”とあるが、具体的な対応はどこまで考えているのか。

回答 1

仕様上特に定めておりませんが、例えば、音楽演奏時に聴覚障害をお持ちの方もお楽しみいただけるような工夫をするなど、障がいを抱えていらっしゃる方にも等しくご満足いただけるような内容・配慮を、各自ご検討いただければと思います。

質問 2

業務が“講演会の企画運営”となっているが、仕様にある「講演会及び本市の自殺対策に関するメッセージ普及について効果的な周知となる様・・・」とある。メディアを通じた発信に関して具体的に考えている内容や前例をお聞かせください。

回答 2

基本的には本講演会中心の周知とはなりますが、本講演会は、本市の自殺総合対策事業の一環であることから、札幌市の自殺の現状やゲートキーパーに関する知識も併せて発信できればと考えています。前年度の具体例としては、ラジオCM、ラジオ局ホームページ内告知が挙げられます。

質問 3

“講演者の当日出演不可になった場合の代替案”とあるが、代替講演者の確保や当初の予算を想定して於くべきか。提案段階でどの様に盛り込むのか。

回答 3

提示されている予算内で、例えば、代替講演者等の事前依頼による確保、当日出演可能な他の講演者等による代替企画、その他の企画内容による補てん等、各自にてご検討の上、ご提案いただければと思います。

質問 4

チラシ、ポスター仕様の指定はありますか。

回答 4

チラシはA 4判、ポスターはA 1判の四色カラーを想定しております。

**質問5**

チラシ、ポスターの配布方法も提案になりますか。

**回答5**

提案説明書6－(2)－ア－(ア)に則り、チラシ、ポスターの配布方法も含めて、広報の手法をご提案いただければと思います。

**質問6**

広報に関して、「本市の自殺総合対策事業におけるメッセージを多くの市民に伝える」とありますが、具体的にはどのようなことでしょうか。

**回答6**

質問2の回答をご参照ください。

**質問7**

若年層の定義は40歳未満ということでしょうか。

**回答7**

お見込みのとおりです。ただし、今回の講演会では、全参加者における10代、20代の方の参加者割合の増加を目指したいと考えています。

**質問8**

音楽演奏は「鑑賞型」となっていますが、想定しているジャンルはありますか。またNGのジャンル（ロック等）も教えてください。

**回答8**

音楽演奏については、提案説明書6－(2)－ア－(ア)に記載されているとおり“参加型ではなく鑑賞型とし、静かにゆったりと参加者それぞれのペースで鑑賞できるものであること”という条件を満たしているものとし、特定のジャンルの指定はありません。

**質問9**

受付方法は札幌市のコールセンターを利用できますか。

**回答9**

講演会の開催時期などの都合により、現時点で確実にコールセンターの利用が可能であるとは言えません。しかし、札幌市主催の事業でもあり、提案内容の中で希望があれば、協力する方向で考えております。

**質問 10**

講師の代替案の用意も必須ですか。また代替案の講師もチラシで告知するお考えですか。

**回答 10**

講師の代替案につきましては、質問3の回答3をご参照いただければと思います。また、チラシでの告知については、“内容は変わる可能性がある”旨を記載する程度と考えています。

**質問 11**

講話はトークショー形式でも可能ですか。

**回答 11**

本講演会での「講話」は講義スタイルで考えており、トークショー形式は想定しておりません。ただし、講義スタイルによる「講話」とトークショー形式をあわせて60分間～90分間内とするならば、トークショーが盛り込まれるのは構いません。

**質問 12**

講師案で「確実に招聘できる関係性」とありますが、関係性がない場合には提案は不可ということでしょうか。

**回答 12**

「確実に招聘できる関係性」とは、“提案された講演者等の招聘が確実に実現できること”を意味します。したがって、例えば、過去の招聘実績などの関係性がなくても提案可能です。

**質問 13**

WEST19・講堂は会場として使用できないのですか。

**回答 13**

提案内容や講堂の利用可能な日程等にもよるため、現時点で確実に使用できるとは言えません。